

今年度の一連の災害を踏まえた災害対策を求める決議について

今年度の一連の災害を踏まえた災害対策を求める決議を次のとおり提出する。

平成30年10月25日提出

提出者 市 会 議 員 全 員

今年度の一連の災害を踏まえた災害対策を求める決議

平成30年7月特別市会において全会一致で可決した「大阪府北部を震源とする地震及び平成30年7月豪雨の災害対応の検証と災害体制の再構築を求める決議」を踏まえ、去る9月3日の総務消防委員会において、「大阪府北部を震源とする地震」及び「平成30年7月豪雨」における本市の災害対応に係る総括について」が報告され、避難場所の運営等、当該災害への対応に係る検証と改善策が示されたところである。

一方、その後上陸した台風21号では、本市においても、最大瞬間風速が戦後最大の39.4メートルを記録し、昭和9年の室戸台風に次ぐ観測史上2番目の暴風を発生させ、住家はもとより、社寺等の文化財をはじめ、公共施設、商業施設、農林業施設などに甚大な被害をもたらし、いまだ完全復旧には至っていない状況である。

この数箇月の間で、地震、豪雨、台風による自然災害が立て続けに猛威を振るったことは、我々一人一人に自然災害の脅威を再認識させ、その対策に早急に取り組まなければならないことを痛感させるものである。

よって京都市においては、「大阪府北部を震源とする地震」及び「平成30年7月豪雨」に加え、倒木や停電等、「台風21号」における災害対応についての検証と改善策を取りまとめ、併せて早急に行うことを求める。

以上、決議する。

年 月 日

京 都 市 会